

大和しっくい：プロの仕上がりを支える「3層の守り」

美しい白壁は、塗る前の「下地」で決まる。



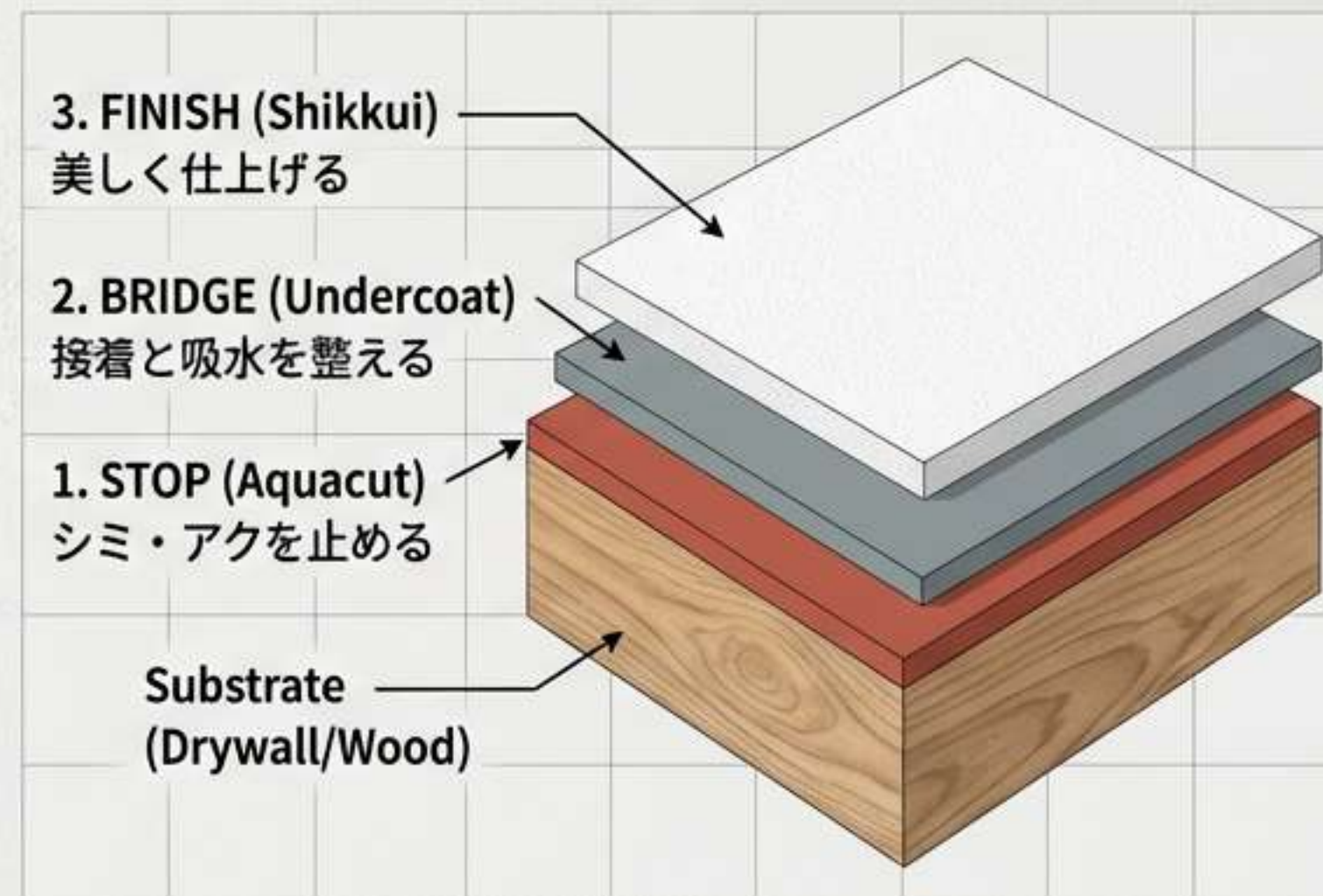
漆喰(しっくい)を塗りたい。その情熱は素晴らしい。しかし、いきなり仕上げ材を塗ってはいけない。DIYとプロの差は、見えない層へのこだわりにあります。

多くの人陥る「仕上げ材だけ」の罠



漆喰は非常に繊細な素材です。壁の汚れ、吸水性のムラ、下地の動き…すべてが表面に現れてしまいます。

だからこそ、私たちは「3つの工程」を推奨します。



第1の守り：見えない敵「アク」を封じ込める

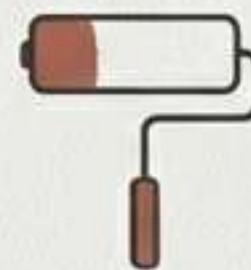
壁には湿気や油分、タバコのヤニが染み込んでいます。これらは漆喰の水分と反応し、施工後に茶色いシミミとなって浮き出てきます。この「アク」を完全にシャットアウトするのが、最初のステップです。



アクカット：強力なシミ・アク止め剤



容量：4kg	1kg
施工面積：25m ² ~40m ²	6m ² ~10m ²
道具：刷毛やローラー	
安全性：ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆	

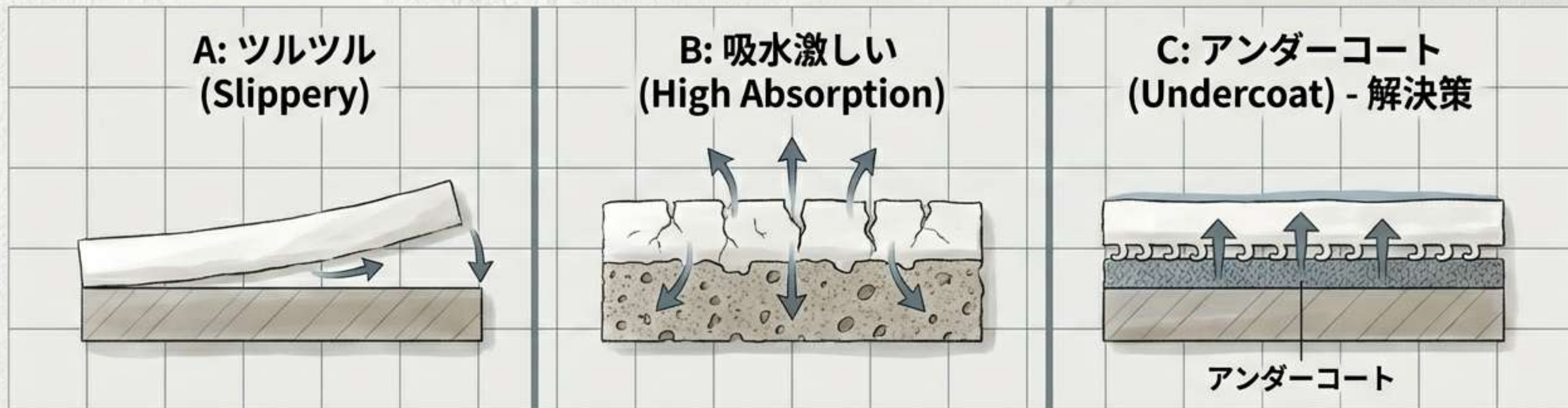


ローラーで簡単に塗ることができます。
塗り残しがないように、丁寧に壁全体
をコーティングしてください。

STOP 壁・下地の生活シミ

第2の守り：壁と漆喰の「架け橋」を作る

アクを止めただけでは不十分です。ツルツルした面には漆喰が食いつかず、逆に吸水が激しい面では水分が奪われすぎて「ひび割れ」の原因になります。ここで必要なのは、接着力を高め、水引き（乾燥スピード）を調整する「アンダーコート」です。



“良い仕上げは下地づくりから”

アンダーコート：内装用下塗り材



正味質量	5kg/袋
標準塗り厚	0.5mm
標準施工面積	約10m ² /袋
標準加水量	約3.5ℓ/袋

機能

- 仕上げ材の接着力向上
- 水引き調整効果



水を加えて練るだけ。コテを使って0.5mm厚で薄く延ばします。

「手間」を惜しむと、後で「後悔」する

失敗してからやり直すのは、最初から丁寧にやるより何倍も大変です。急がば回れ。

アク止めなし



3層の守り



下塗りなし



主役の登場：大和しっくい

内外装白壁材

下地が整いました。いよいよ仕上げです。
呼吸する壁、自然な風合い、そして圧倒的な白さ。あなたの家が、生まれ変わります。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1102017
区分表示	薄塗材 L
放散等級	F☆☆☆☆



NET：20kg入

特徴：練り漆喰ではなく、粉末タイプ（水を加えて使用）

最も安定した施工方法

下地（アンダーコート）が水引きを調整してくれるため、
漆喰の伸びが良く、初心者でも驚くほどスムーズに塗れます。

アク止め＋下塗り材＝美しい仕上がりへの近道



完璧な壁のためのチェックリスト

STEP 3: 大和しゅくい
(仕上げ)

STEP 2: アンダーコート
(水引調整)

Noto Sans JP

STEP 1: アクカット
(アク止め)